



# 日本最北の離島 利尻島・礼文島へようこそ!

～FDAチャーター便歓迎セレモニー～

## ◆記事一覧

- P2-7 ● 町政執行方針
- P8-10 ● 教育行政執行方針
- P10 ● 自転車の違反にも反則金導入
- P11 ● 予算概要
- P12-13 ● 町内就職者紹介／警察官紹介
- P14 ● 地域おこし協力隊通信
- P15 ● わがまちタイムスリップ
- 管理栄養士だより
- P16 ● ベイビートーク／戸籍の窓口 他

令和8年

7月号

No.265

広報 

# いしり富士

# 令和8年度 町執行方針

## 元気なふるさと づくりのために



令和8年利尻富士町議会定例会3月会議の開催にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し上げます。

私は、昨年の町長選挙において議会の皆様、町民の皆様方の心温まる多くの激励、力強いご支援により、4期目も無投票当選という最高の栄誉を与えてくださったことに厚く感謝と御礼を申し上げますとともに、更なる重責を感じながら町政に邁進していく所存であります。

新たなスタートを切った4期目においても基本的な考えを変えず、6つの政策方針をさらに充実させるため、今議会に関連する令和7年度各会計補正予算、令和8年度各会計予算を編成し、各条例の制定や一部改正などを提案し

ておりますが、「利尻富士町まちづくり創造総合計画」並びに「利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を政策の基本とし、「元気なふるさとづくりのために」をスローガンに、まちの様々な課題に全力を傾注して町政を執行してまいりますので、議員各位、並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

### 一、豊かさを実感できる 産業の振興

始めに、本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は17億3千6百万円と、一昨年と比較し約3千万円の減額となりました。

昨年は特にエゾバフンウニの減産が深刻でありましたが、鴛泊地区では天然コンブの増産によりウニ減産分をカバーすることができた半面、鬼脇地区は根付漁業全般で厳しい結果となり、町内全般ではタコやナマコなどの減産の影響も大きい1年となりました。

本町の水産業全体を見ますと、漁業者数が現在235人と直近10年間で約4分の1減少しているほか、浅海漁場では磯焼け海域の拡大、エゾバフンウニの資源減少、沿岸においてもホッケやヒラメ、タコなどの資源量が不安定な状況にあるなど、本町の水産業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあると考えています。

そのため、今こそ将来に明るい展望がもてるよう、国や道、漁協、漁業者と連携を図りながら、豊かさを実感できる浜づくりに向け取り組みなければならぬと考えております。

新年度の主な取り組みとしては、離島漁業再生支援交付金事業による漁場の生産力向上の取り組み、漁業後継者3名に対する磯船の贈呈、養殖昆布漁業起業家3名に対する雇用創出の取組支援、利尻ブランドである「利尻昆布」「ウニ」の付加価値向上のためブルーカーボンや利尻昆布株主事業の実施、鬼脇地区の磯焼け対策への支援、海上輸送費支援などに取り組んでまいります。

北海道が行う水産基盤整備では清川地先に囲い礁の整備、富士岬沖及び鬼脇沖への魚礁設置を継続いたします。港湾関係では、国直轄事業として鴛泊港鬼脇港区の南防波堤改良工事を継続するほか、鴛泊港内の国有財産である事業用地の取得に向け取り組んでまいります。

次に観光業についてですが、令和7年度上期の観光客入込数は9万8千人、宿泊客延数は6万人と昨年の95%程度にとどまる結果となりました。

長期化する物価高騰の影響や、悪天候による交通障害、大阪・関西万博により国内の観光需要が関西方面に流れたことが減少の要因と考えております。観光業全体を見ますと、旅行の形態が団体から個人旅行へシフトしている

中で、飲食店不足や2次交通不足といった課題が顕在化する一方、来訪者へのアンケート結果によると、旅行先に利尻島を選定した理由として、日本最北の国立公園であること、自然と景観、グルメ、登山などを挙げる方が多く、来訪中に満足度が高かったものとして、地域の自然や観光体験の他、地域の静かさを挙げる方が多いのが特徴となっていますので、地域の強みを生かしつつ観光満足度を向上させる取り組みを進めてまいります。



2次交通確保対策(LUUP)

新年度の主な取り組みとしては、利尻クエストなどの体験・滞在型観光の推進、秋のFDAチャーター便の増便対策として地元の食と映画を活用した団体ツアーの受け入れのほか、クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」が7月に鴛泊港に寄港の予定であるなど明るい話題もありますので、本町の魅力発信と、交流人

口の増加、観光消費額の拡大に向け取り組みでまいります。

自然環境の保全対策としては、環境省事業として登山道の危険箇所の整備工事が実施予定でありますし、国と連携を図りながら国立公園全体の自然環境・景観保全対策に取り組んでまいります。

また、北海道の宿泊税が4月1日から導入されることとなっておりますので、本町としても町独自の観光財源確保に向け、検討を進めてまいります。

## 一・更なる離島振興対策の推進

私たちが暮らす離島地域は、離島振興法によりインフラ整備や産業振興など各種の振興策が国により講じられ、住民の生活の安定及び福祉の向上が図られておりますが、本土より遠隔の地に位置する「特定有人国境離島地域」については、なお人口減少が著しいことから、離島振興法等の施策に追加する形で、平成28年4月に有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法が制定されております。この、通称有人国境離島法により、国境離島地域ならではの特性に応じた施策が推進され、航路・航空路の離島住民割引運賃による島民の運賃低廉化をはじめ、輸送コスト支援、滞在型観光の推進、雇用の拡充について支援されております。

すが、10年間の法期限となる令和9年3月31日まで残り1年となり、現在開会中の特別国会にて改正案が提出される方向で調整されているところですので、今後は予算枠の拡充に向け、国や北海道をはじめとした関係機関との連携・調整を図ってまいります。

また、原油価格や食料物資の高騰など本土以上に離島住民にとっては重い負担となっていることから、北海道離島振興協議会や宗谷地域総合開発期成会を通じて、国や北海道、関係機関に対し支援方策について強く求めてまいります。

航空路線運賃につきましては、運賃の低廉化のほか日本航空（JAL）・全日空（ANA）とも、お客様のより良い利便性と負担軽減を図るため、従来より行っております離島住民割引制度等の助成についても継続してまいります。

通年運航のJAL便（利尻―丘珠間）は、3月29日から10月24日までの夏期ダイヤにおいて、金曜日、土曜日、日曜日のほか、7月・8月は新たに木曜日も設定し、ゴールデンウィーク及びお盆期間等の祝日を合わせた101日間において午前便の増便が決定しております。この復便化により離島住民の生活交通路線及び道央圏から離島への観光路線として、更なる利便性向上を図ってまいります。

また、季節運航となっているANA便（利尻―新千歳間）は、今年度も6

月から9月までの4ヵ月間運航されることとなり、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要な不可欠な生活路線でありますので、運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。

FDAにおいてもチャーター便の運航が計画されておりますので、期待をしております。

町道整備では、鴛泊市街1号線（神社通り）の排水対策および鴛泊市街10号線の舗装打換え工事を行うほか、自治会から要望のあった本泊漁港線の側溝改修を引き続き実施し、道路環境の改善を進めてまいります。

橋梁につきましては、長寿命化計画に基づき定期点検を実施し、経年劣化の状況を把握してまいります。

除排雪では、冬期間の除排雪体制を維持し、生活道路の安全で円滑な通行の確保に努めます。また、老朽化が進む鬼脇地区除雪センターにつきましては、次年度の改修工事着手に向け実施設計を進めるとともに、除雪ドーザー1台を更新し、除排雪機能の強化を図ります。

道道の整備関係につきましては、実施時期は未定ではありますが、自転車道に架かる3橋の補修工事と鯉泊地区の道路改良工事が予定されております。さらに、各地区において落石対策調査および雪況調査が実施される予定です。今後とも計画的な維持管理に努めるとともに、狭隘地区の道路整備促進につ

て関係機関と協議を重ね、必要要望を行ってまいります。

住宅施策では、長寿命化計画に基づき、富士野団地及び第二船見ヶ丘団地の個別改善工事を実施いたします。また、町職員住宅では、老朽化した住宅を解体したうえで、引き続き1棟4戸の職員住宅を建設し、職員の居住環境の改善を図ります。

鴛泊市街地街なみ環境整備事業では、引き続きポケットパークの園路と擁壁の整備及び休憩所・トイレ周辺の外構整備を進めてまいります。併せて港町地区に防火水槽を整備するとともに、災害時に避難場所へ誘導するための避難誘導サインの整備を実施いたします。



鴛泊市街地街なみ環境整備

水道事業では、安定した飲料水の供給を確保するため、施設の適切な維持管理に努めてまいります。本年度につきましても、昨年度に実施した漏水調

査で判明した箇所は補修工事を行い、安心して利用できる水道インフラの維持向上に努めてまいります。

下水道事業では、ストックマネジメント計画に基づき、鴛泊終末処理場の長寿命化を図るため、電気計装設備及び機械設備を更新し、施設の適正な維持管理及び安定した水処理を行い、清潔で快適な環境づくりを進めてまいります。

昨今、役場をはじめ建設業界や商工業界など、あらゆる職種で労働力不足問題が顕在化しており、早急な対策が求められていることから、現在、地域活性化起業者と地域おこし協力隊を活用し、様々な業種による通年でのマルチワークを創出する「特定地域づくり事業協同組合」の設立へ向けて、各事業者への聞き取りを開始しているところであり、令和8年度では、求人情報の集約・紹介を担うワンストップ窓口の開設による実証試験を行ってまいります。



SNSによる魅力発信

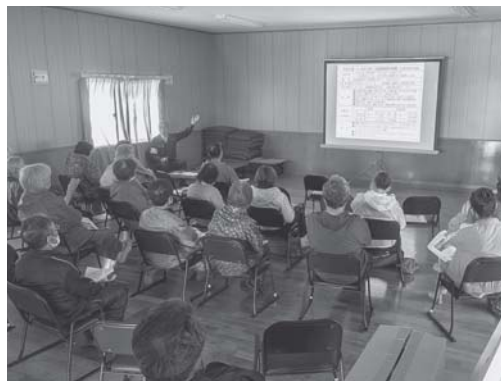
また、若手職員を中心としたSNSによる新たな島の魅力発信や、求人情報サイトを活用した職員募集情報の拡散など、労働力不足対策についても引き続き取り組むとともに、時代の流れに取り残されることのないよう、全庁的な意識改革や体制整備により、持続可能な社会づくりに努めてまいります。以上のとおり、離島地域で生活している私たちは、まだまだ本土との格差が大きく、人流・物流、交通対策や介護・医療の確保対策などを強く訴えていく必要がありますので、国や北海道との連携を一層強化しながら住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

### 三. 被害を最小化する 防災・減災対策の深化

令和6年に発生した能登半島地震による震災復興が思うよう進まない中、昨年12月には青森県東方沖地震が発生し、令和4年の運用開始以降初めて北海道・三陸沖後発地震注意情報が出され、また新年早々には島根県東部を震源とするマグニチュード6.4の地震が発生するなど、あらためて日本が地震大国であるということ突き付けられた思いをしております。

本町においては幸いにも大きな地震被害はないものの、昨年7月にはカムチャッカ半島付近を震源とする地震に伴う津波注意報が本町にも発表されており、今年1月12日からは今まで想定

されていなかった宗谷地方南部における地震活動が一時活発化したことから引き続き、地震・津波はいつ起きてもおかしくないとの考えの下、本町の防災対策を進めてまいります。



鯉泊・旭浜・石崎防災講話

また、毎年全国各地で大雨による土砂災害が発生しており、本町においても昨年8月26日と9月1日の2度に渡り土砂災害警戒情報が発表され、幸い土砂災害の発生には至らなかったものの、りぷら、野塚自治会館、鬼脇公民館を避難所として開設したところ、最大で4世帯4名が避難していることから、引き続き災害用備蓄品を整備し強化充実を図ります。

4月からは新たに防災監が着任いたしますので、大雨等による土砂災害の危険性の覚知についても、関係機関との連携を密に迅速な住民対応にあたるとともに、自主防災組織との避難所運営訓練を実施する等、より一層、防災

対策に万全を期してまいります。

消防関係につきましては、救急救命士取得予定職員1名を採用し、教育指導や訓練の向上を図り、救急体制の維持に努めてまいります。また防火水槽1基を温泉保養施設周辺に新たに整備し、消防力の強化を図ってまいります。更に大型自動車免許を2名の職員に取得させ、消防団にあつては5名の団員が13年ぶりに北海道操法訓練大会に出場し、火災・災害に対応出来るよう、職員、団員ともに住民に対し安心・安全な消防力の強化に取り組んでまいります。

治山・砂防対策では、町の事業として、湾内地区オモベツ川の河床整備を引き続き実施します。また、稚内建設管理部が実施する砂防事業では、今年度もオチウシナイ川の砂防堰堤内の除石と砂防堰堤の補修を実施する予定です。

宗谷森林管理署では、アフトロマナイ川の谷止め工の整備を実施します。また、鴛泊・鬼脇両地区において火防線等の保全整備を実施するとともに、本泊・南浜地区では下刈りを中心とした保安林整備を計画しています。

宗谷総合振興局林務課では、小規模治山事業として引き続きヤマナイ沢治山施設内の排土工を実施する予定です。

**四．地域で支えあひ  
安心な暮らし**



ふまねつと運動教室

2026年は、いわゆる「団塊の世代」全員が75歳以上となり、後期高齢者が社会の中心的な構成層となる段階に入りました。これは、日本の超高齢社会にとって大きな節目であり、わが町においても医療・介護の分野だけでなく、住まいや生活支援等、持続可能な「支え方」を見極めながら、きめ細やかな支援体制の構築を目指してまいります。

買い物等の外出支援、運動教室など、高齢者に重要とされる介護予防支援事業は、社会福祉協議会に委託し、老人クラブや関係団体と連携しながら進め、また、通院に支援が必要な方への「移送サービス」については、料金を無償化し、安心な在宅生活を支援いたします。

保健事業では、町民一人ひとりが自分らしく、はつらつとした生活を送るため、ライフステージを踏まえた健康づくり事業の充実を図ってまいります。

成人・高齢者保健では、疾病の予防と早期発見のため、特定健診、後期高齢者健診等の制度周知や受診勧奨のほか、自身の健康に関心を向け、自らの健康づくりに取り組むことができるよう、健康増進に関する普及啓発や相談対応などに努め、健康寿命の延伸を目指してまいります。

母子保健につきましては、不妊治療への通院交通費等及び先進不妊治療費の一部助成、妊産婦通院交通費等の助成を継続するほか、市立稚内病院で出産される方への待機入院費用の助成事業を新たに実施し、妊産婦等に対する支援の充実を図ってまいります。

子育て支援施策では、令和8年度入所予定児童42名への保育サービスを提供し、今年度から全国で展開されます「子ども誰でも通園制度」につきましても受け入れを準備し、保育所に通っていない乳幼児、子育て家庭に良質な成育環境を整備・支援してまいります。

鬼脇支所では、近年の猛暑による熱中症などの健康被害を防止するため、エアコンを整備することによりクーリングシエルトとしても機能させることで、住民サービスの向上を図ります。

介護サービス施設の運営にあたっては、働き世代の人口減少等により、慢性的な人材不足が常態化しており、人

材確保に苦慮しているところでありますが、看護・介護人材はもとより、給食業務における調理員の確保も課題の一つとなっており、今年度より秀峰園と利尻島老人保健施設における給食提供業務を共同調理方式による外部委託を実施し、秀峰園において調理したものを老健施設へ配送することにより、調理員不足の解消を図るとともに、更なる衛生管理の高度化、業務効率化が図られ、利用者の健康維持・生活の質の向上、安全・安心で栄養バランスの取れた食事の安定的かつ効率的な提供に努めます。

秀峰園では、施設の安定運営及び入所環境の改善のため、未設置箇所へエアコンを整備するなど、入居者が安全・安心に生活を送ることができるよう環境整備を進めてまいります。

職員体制につきましては、4月から外国人労働者2名を介護員として採用する予定となっております。今後とも外国人労働者を外国人育成機関へ要請しつつ、これまで同様、関係機関の訪問などを継続し職員確保に努めてまいります。

デイサービスセンターでは、安定した施設運営を図るべく、送迎車両や老朽化した備品を更新し、利用者が快適に過ごせる環境づくりを整え、利用者への利便性向上やサービスの向上に努めてまいります。

利尻島老人保健施設では、開設から26年が経過しており、老朽化しているスプリンクラー設備の修繕工事を行う

とともに、令和2年度より年次計画により更新している各居室の電動ベッドを今年度においても5台更新し、利用者が快適に過ごせる環境の整備と、一人ひとりに応じた適切なケアを維持し、安心安全な施設運営に努めてまいります。

また、通所リハビリテーション事業においては、利尻島国保中央病院との出向契約を終了し、新たに理学療法士を採用することにより、万全なサービス提供に努め、利用者の自立支援を促進いたします。

篤泊診療所につきましては、住民の健康を守るため、引き続き利尻島国保中央病院と連携して効果的な医療の提供に努めてまいりますとともに、ポイラー等暖房機器類の経年劣化に対応するため、暖房機器類を更新し診療環境の向上を図ります。

鬼脇歯科診療所では、レントゲン診断装置等を更新し、万全な治療体制に努めてまいります。

**五．健やかな成長と学びを支える  
心豊かな教育の推進と環境整備**

本町の教育施策を推進するにあたっては、「利尻富士町教育大綱」を軸として、教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に実行していく所存であります。

令和8年度に4年目を迎える「小中一貫教育」については、町としても見

童・生徒の学びを支え、成長を促す重要な施策ととらえており、児童・生徒にとつてよりよい取り組みとなるよう期待するものであります。

学校給食については、引き続き児童・生徒を対象とした学校給食費の無償化を継続し、利尻高校においても、希望者に給食を提供してまいります。

昨年、北海道医療大学との連携協定を締結し、児童・生徒の心のケアや教職員に対するサポートはもとより、専門教員や学生の実習の受け入れなど保健福祉事業にも注力してまいります。

部活動の地域移行については、地域の教育力を活かした地域展開を図り、学校開放等のさらなる利活用を進めてまいります。

例年、北海道エアシステム（HAC）のご協力により実施している「ふるさと教育体験事業」については、本年5月に小学6年生を対象として計画しており、利尻島上空を遊覧飛行する直接体験を通して、ふるさと利尻島への愛着や誇りを育む教育の充実に取り組んでまいります。

鴛泊スキー場整備については、火災による焼失によって関係者の皆様に多大なるご迷惑とご不便をおかけしましたが、建設に向けた設計・工事費について予算計上し、シーズンに向けた整備を迅速に進めてまいります。

なお、教育行政執行の内容につきましても、このあと詳細に吉田教育長から申し述べますので、お聴きいただき

たいと思います。

## 六. 次世代に苦勞をかけない 財政運営

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく4つの指標も、すべて国の基準をクリアしています。

しかしながら、人口減少、少子高齢化、生産年齢人口の減少が進むにつれ、地方交付税や町税の減少など、少なからず町財政に影響がでてきており、特に、公共施設の老朽化による維持補修費や更新、改築にも多額の費用が見込まれ、更には人件費の上昇や物価高騰等が徐々に財政を圧迫することが現実な状況となつていくことから、基金残高や町債残高に注視しながら、中長期的な視点をもって町財政の見直しを進め、取捨選択しながら「次世代に苦勞をかけない」ため、健全財政の堅持を図ってまいります。

## 七. 地方創生関係

地方創生関係につきましては、現在、第3期となる利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定中であり、国が新たに策定した総合戦略に対応してまいります。

地方創生が10年を迎え、本町は消滅

可能性自治体からは脱却となりましたが、昨年実施した国勢調査の状況では人口減少はなお続いていることから、各項目において触れているものもありますが、人口減少をさらに鈍化させるべく、国の政策目標である「強い経済」「豊かな生活環境」「選ばれる地方」を目指し、出産支援や子ども医療費の無償化、通学支援金の給付等9の事業を継続し、引き続き魅力ある地域づくりを進めてまいります。

脱炭素の取り組みにつきましては、令和5年3月に礼文町と利尻町との3町共同により「ゼロカーボンシティ宣言」をし、令和6年4月に利尻富士町地球温暖化対策実行計画を策定しておりますが、今年度において役場庁舎の照明を全てLED化するほか、引き続きリシリコンプでのブルーカーボンによるCO2の吸収源対策など、実行計画における重点プロジェクトの実行により、脱炭素化に向けて取り組んでまいります。

## 八. 令和8年度の予算案について

これからご審議頂きます令和8年度の予算は、人口減少や物価高騰等により益々厳しさが増す本町の財政状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民皆様の安心・安全な暮らしを最優先に予算編成を行うところであります。

その中で、建設事業費は、一般会計で11億3,710万3千円、特別会計・公営企業会計では1億9,274万4千円を合わせて13億2,984万7千円となり、対前年度比4.5%の増額を見込んでおり、これらの事業費によって地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、当初予算に捕らわれず、財源を確保しながら経済対策を進めてまいります。

また、財源不足を補うため財政調整基金から9千200万円を取り崩して充てることとしており、全国各地の皆様からご厚意により寄せられている「ふるさと応援基金」から5億5千万円を有効に活用すべく28の事業に充当いたします。

その結果、一般会計の予算規模は57億5,130万円とし、対前年度比3億3,410万円増、率で6.2%の増額予算となっております。

また、特別会計では、港湾整備事業会計他6つの会計の合計で15億9,571万円で、介護職員住宅整備事業の完成等に伴い対前年度比1億8,802万4千円の減額、簡易水道事業と下水道事業の公営企業会計の合計では5億7,415万5千円となり、一般会計と特別会計並びに公営企業会計を合わせた総額では79億2,116万5千円とし、対前年度比3.5%の増額予算としております。

なお、職員体制については、依然と

令和8年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名		事業費
総務費	公共施設等総合管理計画改定業務	2,750
	職員住宅解体工事	8,000
	職員住宅建設工事	139,100
	鬼脇支所エアコン設置工事	4,000
	庁舎照明LED化工事	63,400
	北のしーまボイラー更新工事	11,500
	車輛購入費	4,000
	計	232,750
衛生費	総合保健福祉センターエアコン設置工事	13,640
	総合保健福祉センター照明器具LED化工事	2,640
	計	16,280
農林水産業費	小規模治山事業	22,500
	離島漁業再生支援交付金	44,686
	水産環境整備事業負担金	7,100
	海岸漂着物処理業務委託料	7,000
	磯焼け対策事業補助金	7,500
	特定有人国境離島漁村支援交付金	32,500
	計	121,286
商工費	白い恋人の丘測量業務委託料	451
	計	451
土木費	町道改良工事（鴛泊市街1号線）	138,800
	町道改良工事（鴛泊市街中央線）	10,200
	町道施設点検業務（町道改修事業）	4,900
	町道改修工事（町道改修事業）	16,000
	町道側溝改修工事（本泊漁港線）	7,500
	利尻富士町橋梁点検負担金	4,300
	鬼脇除雪センター改修実施設計業務	5,500
	除雪ドーザー（鬼脇地区）購入費	54,000
	鴛泊港整備事業負担金	38,400
	漁船上架施設改修工事	2,600
	カルチャーセンターホールエアコン設置工事	924
	鴛泊市街地街並み整備事業	109,000
	公営住宅個別改善事業	108,400
	公営住宅整備事業	3,000
	飛行場標識施設補修工事	5,995
	滑走路補修工事	6,000
	空港ロータリー除雪車購入費	100,000
	場周柵補修工事	8,005
	計	623,524
	消防費	光ケーブル移設工事
J-アラート受信機更新業務		23,100
計		24,100
教育費	鴛泊中学校駐車場整備調査設計業務	1,760
	鴛泊中学校体育館暗幕取替業務	1,601
	鬼脇スキー場道路外灯更新工事	1,518
	鴛泊スキー場ヒュッテ建設工事	113,833
	計	118,712
一般会計合計		1,137,103

して体制の維持が大変厳しい状況にあるため、引き続き住民サービスの低下もあり得る事態となっておりますので、町民の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和8年度の町政執行に対する私の所信の一端と、主な政策を申し

述べましたが、少子高齢化が進展し、物価高騰等により低迷する地域経済、介護や医療現場をはじめとした人手不足など、多くの課題を抱えている中にもあっても、地域の発展や町民福祉の向上のため、将来にわたって持続可能なまちづくりが必要不可欠であります。利尻富士町の発展、そして町民がゆ

とりと豊かさを実感して暮らせるよう「安心で安全な住みよいまち、輝くまち」となるため、当初から一貫して提唱しております「町政は町民が主役であり、町民と一体となって進めなければならぬ」ことを肝に銘じ、利尻富士町が「元氣なふるさと」であり続けるよう、先頭に立って町政運営に取り

組んでいく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援と、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、令和8年度の執行方針とさせていただきます。

# 令和8年度 教育行政 執行方針



## はじめに

令和8年利尻富士町議会定例会3月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げます。

明治19年（1886年）本町の教育の礎となる利尻学校が設置されてから140年という月日が流れました。かつて多くの子ども達の活気に溢れた教室は、時代の変遷とともにその姿を変え、現在、私たちは「利尻富士町人口ビジョン」が示す可視化された厳しい現実に直面しています。

しかし、「教育は国家百年の大計」という言葉が示す通り、人材育成こそが町の存立の要であることに変わりはありません。人口減少という不確実な時代だからこそ、少人数校である本町

の教育において「誰一人取り残さない包摂性の高い学び」と、最新のデジタル技術（DX）を融合させた、本町独自の教育モデルを確立する必要があります。

昭和100年という筋目を経て、次なる時代を切り拓く子ども達が、利尻富士での学びに誇りを持ち、自らの未来を主体的に切り拓いていけるよう、そして地域に住む皆さんとともに学校教育と社会教育との両輪となる持続可能な地域社会を創るため、令和8年度において次の3つの主要な施策を推進してまいります。

## 1. 「学びの連続性」の進化と 知の構造化

令和5年度に始動した「りしり富士小中一貫教育」は4年目を迎え、これまでの課題と成果を基盤とし、さらなる質の向上を目指します。

単なる知識の暗記に留まらず、児童・生徒がこれまでの9年間で得た「既有的知識」を新しい課題へと繋ぎ合わせる授業スタイルを確立し、深い理解を促します。

これまでのふるさと教育は「地域について調べる学習」から、子ども一人ひとりの好奇心を起点とする学びへと転換します。

これは小中学校における「質の高い深い学び」を利尻島のふるさと教育に当てはめる取組です。次期学習指導要

領で示される「自らの人生を舵取りする力」や「情報領域の負荷」といったことの新しい枠組みを活用し、例えば9年間の総合的な学習の時間において、利尻島の様々な自然や観光に関するデータをデジタルで集計・分析し、科学的な根拠に基づく島おこしを提案します。また生成AIを活用し、利尻島の魅力を世界へ届ける多言語パンフレットを作成したり、シミュレーターを用いて気候変動が島の漁業に与える影響を予測する活動など、教師が正解を教えるのではなく、子ども達が試行錯誤できるような適切な問いかけを行う「伴走者」を目指します。これにより、利尻島の自然や文化と向き合う中で育まれる子ども達一人ひとりの良さや成長を肯定的に見取ることができ、将来的に島を支え、自らの人生を切り拓く力へと繋がります。

このため、地域の資源を次世代へ確実に引き継ぐため、社会教育と学校教育を隔たりなくつなぎ、歴史や自然、産業に関する教育資源をデジタルアーカイブ化し、どの学校からでも質の高い郷土学習を展開できるよう教育委員会において支援に向けた取組を行います。

令和8年度、小中一貫教育における在籍予定児童生徒数は、鴛泊地区で88名（小学校53名、中学校35名）、鬼脇地区では32名（小学校15名、中学校17名）の計120名となっております。令和7年度と比較すると14名もの減少と

なり、鬼脇中学校では学級編成の基準により昨年度の単式学級から、令和6年度までと同様の1・2年生の複式学級体制へ移行することから教員定数も3名減少しますが、新たな指導体制のもと鴛泊中学校との連携による授業の形を模索します。

小中一貫教育がスタートした当時の小学校6年生が今年度中学3年生になります。これまで実施してきた乗り入れ授業やティームティーチング、少人数指導による学力の向上の成果として、全国学力・学習調査では全国平均を上回る教科もあるなど平均正答率において宗谷管内の他市町村を上回る結果が見えてきています。引き続き、生徒指導やいじめ・不登校対応など、小中教員の縦の連携をさらに確かなものとし、課題をしっかりと捉え9年間を見通した指導体制をさらに強化してまいります。

また、同時に子ども達は小さな島から、グローバル社会へと羽ばたいていきます。世界の出来事が瞬時に身近な生活と結びつく時代において、外国語やICTといった技能をより一層自分のものとし、世界とつながる学びの出发点となるようALITの継続的な配置を行うてまいります。

二．多様性を力に変える  
包摂的な教育環境の整備



医療大との協定締結式

新たな人口将来像において、子ども達一人ひとりの存在はかつてないほど重要です。多様な特性や背景を持つ子ども達が互いを認め合い、安心して学べる環境を整えるため、北海道医療大学との連携をさらに深化させ、専門的な知見に基づいた個別支援を実施し「メンタルヘルスケアの先行地域」として心の成長を多角的に支えます。

令和7年度において児童・生徒及び教職員用タブレット端末すべてを更新していただきました。新たな環境でのGIGAスクールのセカンドステージとして、情報活用能力をすべての学びの基盤と位置付け、ICT環境を「文

房具」として使いこなす段階から「探求の武器」へと昇華させ、教職員自らも絶えず学び、デジタルの力を個別最適な学びの実現へと繋げてまいります。

子ども達の多様性を包摂する教育の実現は喫緊の課題とされ、本町においても「みんな」で学ぶ場である学校において、一人ひとりの意欲を高め、可能性を開花させるためには、教育課程全体を包摂的な仕組みに改めることが不可欠であり、その実現に向けて次期学習指導要領の方向性を踏まえた取組を推進してまいります。

包摂の必要性は、単に個別の困りごとを解決するだけでなく、「多様性を個人及び社会の力に変える」という前向きな目的があります。このため、これまで利尻島内で行ってきた小中教職員の研修を継続的に深化させるとともに利尻高校との12年間を見据えた学びを支援し、利尻島内での活動が「生きる力」として結実するよう、学習用端末購入助成や地域連携事業を継続します。

三．地域人材の体系的活用と  
地域コミュニティ

近年の学校教育における「社会の役割」は、従来の「学校Ⅱ教育の中心」という考え方から、「学校と社会が共に子どもを育てる」という方向に大きくシフトしています。教育を「学校内の営み」として完結させるのではなく、



放課後子ども教室

地域全体を教育資源とする循環型学習モデルの構築が不可欠であり、本町においては学校教育と社会教育を分断せず、一体的・計画的に接続することで、子ども達の「生きる力」を実質的に育成することを目指します。

このため学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を縦軸とし、漁業・観光・環境保全・文化伝承等の人材を登録制で可視化し、学校教育と社会教育の双方で活用する共通人材バンクの整備を模索しながら、地域の施設や身近な教育資源を積極的に活用した循環型の学習モデルの構築に向けて、これまでの文化・スポーツ団体や青少年団体への支援とともに「放課後子ども教室」による放課後・休日の学習の高度化を推進します。

地域人材の体系的な活用の中でも令和6年度から国の実証事業を活用した中学校における部活動の地域移行は、令和8年度から新たな改革実行期間としてスポーツ・文化芸術活動を地域全体で関係者が連携して支え、子ども達の豊かで幅広い活動機会を保障するため「地域展開」としてスタートします。

国の動向に先駆け「サッカー部」と「バドミントン部」を先行事業として着手してきました。今後はこれらを「認定クラブ」として展開可能な種目に位置づけ、サッカー協会や民間企業の理解協力による民間活力の活用モデルとして安定的な運営体制を確立します。また、これまで部活動として設置されていなかった野球種目についても、これまでの活動実績や教員と地域のハイブリッド指導体制を国の補助要件に適合した「認定地域クラブ」として支援してまいります。これにより、子ども達が等しく多様な学びと体験に触れる心の居場所を持つ環境を整えます。

令和7年3月に発生した鴛泊スキー場のヒュッテ火災により、建物の全焼とスキー用具等の焼失被害にあわれた町民の皆様と関係者には多大なご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。また、被災補償に関して町のご支援と関係予算についても議会でのご理解に深く感謝申し上げます。

被災後は仮設での運営をスキークラブの協力を得ながら無事に遂行することができ、スキー授業やスキー教室、

検定会など子ども達をはじめ多くの町民にこれまで通り利用され、安全にシーズンを終えようとしております。

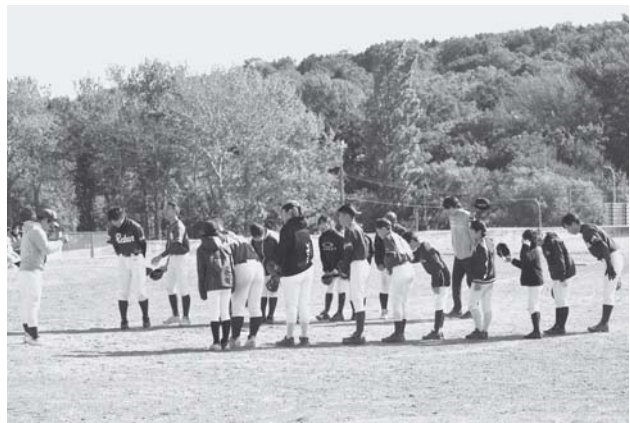
令和8年度においてはスキー場ヒュッテを再建すべく関係予算を計上しておりますので、キャンプ場運営に支障をきたすことなく、またシーズンを通じた共同利用施設としてリニューアルできるよう準備して参りますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

芸術・文化は、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、心のつながりや相手を理解し尊重し合うことで、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであることから、文化活動団体への支援のほか、劇団四季公演の継続実施とともに、文化財保護活動においては東京大学との共同遺跡調査や講座を行い、様々な視点から地域をとらえる力や新たな歴史認識の醸成を図ってまいります。

また、学校を始め公民館など各世代に向けた日常的な集いの場の提供や子どもたちに向けた放課後や休日、夏休みの各種教室開催など、地域の大人が見守る安全・安心な居場所づくりにつながる環境の整備と体験活動を継続してまいります。

さらに子ども達の成長を促す学校給食における食育に関しても、義務教育における学校給食の無償化をはじめ、利尻高校生への給食提供など町の財源による子育てにかかる経済的な負担の軽減や環境整備が総合的に進められる

ことへのご高配に深謝申し上げます。



中学生野球クラブ ラグナルズ

おわりに

以上、教育行政の推進方針と主要な施策について申し上げます。

利尻富士町教育委員会では、明治以来の教育の志を継承し、最新の知見と地域の温かさを融合させることで、子ども達が未来の社会の創り手として力強く歩んでいけるよう、全力で取り組んでまいりますので、町議会議員並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます、教育行政執行方針といたします。

# 自転車の違反にも反則金「青切符」導入!

令和8年4月から、自転車の交通違反にも交通反則通告制度（反則金制度）が適用されることとなりました。自転車に乗るときは、車両の運転者としての自覚と責任を持ち、ルールを守って安全な運転を心がけましょう。

16歳以上が取り締まりの対象!

交通反則通告制度とは  
交通違反をした場合の手续を簡略化するための仕組みです。一定期間内に反則金を納めると、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けずに事件が処理されます。この時、発行される交通反則通告書がいわゆる「青切符」と呼ばれます。

反則行為の例

携帯電話の使用等(保持)  
反則金 12,000円

運転中のヘッドホンイヤホンの使用  
反則金 5,000円

傘差し運転  
反則金 5,000円

歩道徐行等義務違反  
反則金 3,000円

並進  
反則金 3,000円

自転車安全利用五則

- ①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用

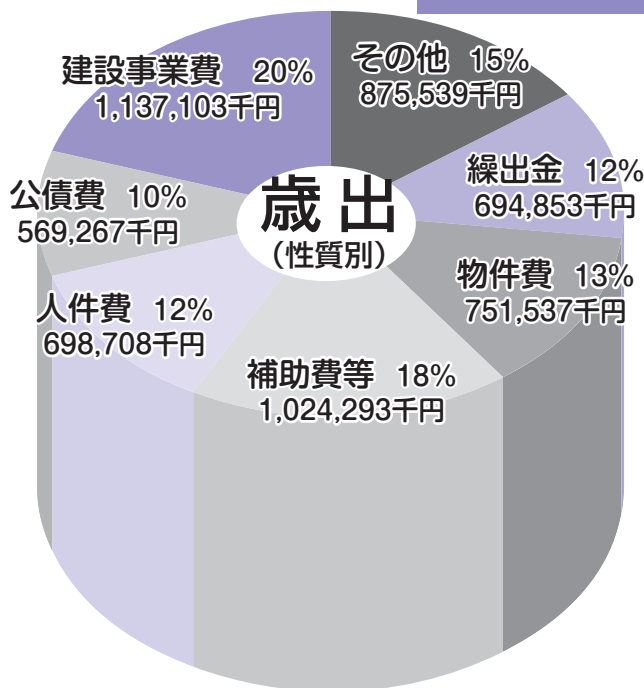
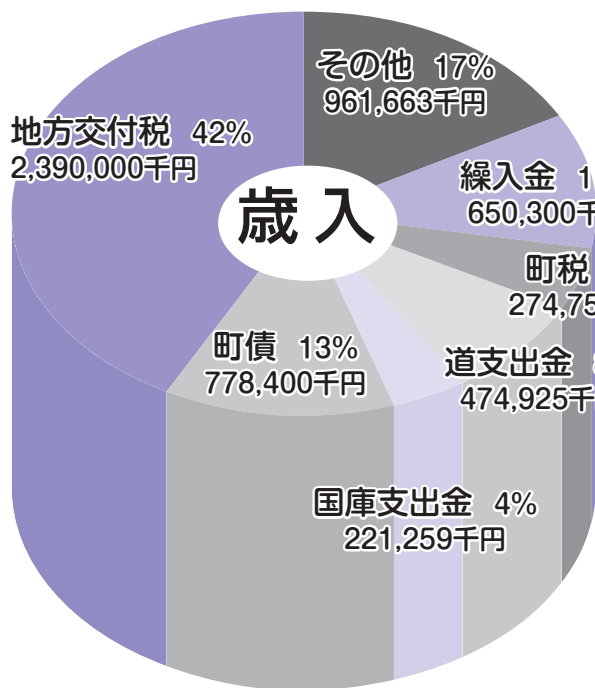
一般会計の歳入・歳出予算額は…

# 57億5,130万円

令和8年度の一般会計当初予算額は、前年度比6.2%の増となっております。特別会計の合計15億9,571万円、公営企業会計の合計5億7,415万5千円と合わせた町の予算総額は79億2,116万5千円で、前年度比約3.5%(2億6,981万9千円)の増額となります。

令和8年度の  
予算概要  
をお知らせします。

## 一般会計予算は？



### ■一般会計予算(目的別歳出予算)

単位：千円

科目	令和8年度	令和7年度	比較
議会費	45,371	45,237	0.3%
総務費	1,115,377	1,040,133	7.2%
民生費	758,384	726,402	4.4%
衛生費	362,040	324,581	11.5%
労働費	92	93	△ 1.1%
農林水産費	194,656	183,872	5.9%
商工費	213,779	343,619	△ 37.8%
土木費	1,278,648	1,126,554	13.5%
消防費	254,539	198,009	28.5%
教育費	371,248	289,748	28.1%
地方創生費	20,370	28,491	△ 28.5%
公債費	569,267	546,934	4.1%
諸支出金	564,528	560,526	0.7%
災害復旧費	1	1	0%
予備費	3,000	3,000	0%
合計	5,751,300	5,417,200	6.2%

### ■特別会計予算(目的別歳出予算)

単位：千円

科目	令和8年度	令和7年度	比較
港湾整備事業特別会計	44,097	53,515	△ 17.6%
国保事業特別会計	369,353	376,408	△ 1.9%
後期高齢者医療特別会計	62,520	51,574	21.2%
介護保険事業特別会計	291,037	310,618	△ 6.3%
介護サービス特別会計	708,480	873,899	△ 18.9%
歯科施設特別会計	51,954	48,656	6.8%
国保施設特別会計	68,269	69,064	△ 1.2%
合計	1,595,710	1,783,734	△ 10.5%

### ■公営企業会計予算

単位：千円

科目	令和8年度	令和7年度	比較
簡易水道事業企業会計	94,474	113,465	△ 16.7%
下水道事業企業会計	479,681	336,947	42.4%
合計	574,155	450,412	27.5%

# 町内 新就職者紹介



- ①出身地 ②配属先 ③趣味・特技 ④今後の抱負



しお ざき こう すけ  
塩崎 倅助 さん

①東神楽町  
②利尻富士町役場会計課  
税務こくほ係  
③ランニング  
④これまでの間働かせてもらい、仕事はもちろんのこと挨拶や礼儀など日々の生活でしっかりと心掛けることの大切さを身に染みて感じました。これからの自分と致しましては、相手の心を考えて思いやりを持つ気持ちを忘れずに町民の皆様、観光に来られる皆様に快い自治体と思ってもらえるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



た すみ まさ よし  
田住 昌禎 さん

①兵庫県  
②利尻富士町役場企画政策課  
防災監  
③ウォーキング  
④「笑顔で暮らせる、住み続けたい」まちづくりに向け、自然など様々な災いからの「犠牲者ゼロ」を目指し、住民みなさまの立場に立ち、誠実かつ謙虚に努めて参ります。  
よろしくお願ひいたします。



しお だ まさ し  
塩田 真士 さん

①帯広市  
②利尻富士町役場企画政策課  
③読書、映画鑑賞  
④北海道庁感染症対策課から地域振興派遣によりやって参りました。利尻山をはじめ雄大な自然に囲まれながら、環境も業務の進め方もガラッと変わって日々新鮮な刺激を受けながら職務に取り組んでおります。行き届かない点もあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう尽力して参ります。



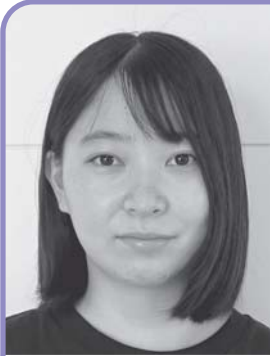
おう せい い  
王 成伟 さん

①中国吉林省  
②特別養護老人ホーム秀峰園  
介護福祉士  
③バドミントン  
④利用者様一人ひとりに寄り添い、安心して生活できるよう支援していきたいです。介護福祉士として知識や技術を身につけ、相手の気持ちを考えながら丁寧な介護を心がけたいと思います。また、職員の皆さんと協力しながら経験を積み、信頼される職員になれるよう努力していきます。



おう しょう き  
王 晓辉 さん

①中国河南省  
②特別養護老人ホーム秀峰園  
介護福祉士  
③小説、料理  
④4月から利尻富士町の施設で介護福祉士として働き始めました。日々の業務では、先輩方に優しく指導していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、利用者様一人ひとりに寄り添い、安心と笑顔を届けられるような介護のプロを目指して、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



かき ざき ゆ つき  
蛸崎 結月 さん

①利尻町  
②鷺泊保育所保育士  
③音楽鑑賞  
④4月から働き始めて慣れないことをしていく中で先生方の優しい支えもあり、仕事が楽しいと思えるようになりました。この気持ちを糧にし、子どもや先生方、保護者の方にも信頼してもらえるように力をつけていきたいと思ひます。



いし ばし ま あや  
石橋 真彩 さん

①江別市  
②利尻礼文消防事務組合  
消防署利尻富士支署警防係  
③飲酒、音楽鑑賞、バドミントン  
④この春から消防職員として勤務しております石橋真彩です。初めての利尻と離島生活で不安なことしかありませんでしたが、優しく迎えてくださり今では安心して楽しく過ごせています。これからも住民の皆様に安心して過ごしてもらえるよう救急救命士としても一生懸命努めていきたいです。来たばかりで話せる人が少ないので見かけたら気軽に声をかけてほしいです！



やま がみ  
**山上ゆみさん**

①奈良県  
②総合保健福祉センター  
すこやか保健係  
③料理・スノーボード・ボクササイズ  
④4月から総合保健福祉センターで管理栄養士として勤務しております。利尻島に来て2ヶ月が経ちましたが、新しい環境でまだまだ慣れない事ばかりです。利尻島や北海道の食文化を学びながら、町の方々が毎日笑顔で元気に暮らしていただけるように、一生懸命がんばりたいと思います。未熟な点も多いかと思いますが、よろしくお願いたします。



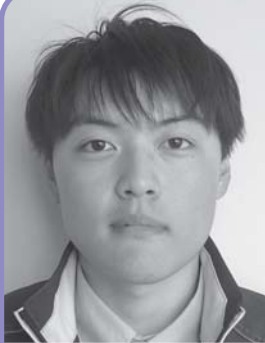
ふる かわ きよ たか  
**古川清隆さん**

①岩見沢市  
②利尻島老人保健施設  
介護福祉士  
③ゲーム・サウナ  
④これまでも介護職をしていたので、活かせる経験はしっかり活かして、皆さんの負担を少しでも早く減らせるように職場や利尻の生活に馴染んでいきたいと考えております。



ほ き よし とも  
**保木義友さん**

①青森県  
②利尻島老人保健施設 介護員  
③スポーツ、格闘技  
④利用者様一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して生活していただけるよう思いやりのある丁寧な介護を心がけていきます。老健施設では多職種との連携が大切だと考えているため、原田さんや柴田さん看護師の方々からも多くを学びながら、利用者様の在宅復帰や日常生活の支援に努めていきたいと思ひます。また、周囲への感謝や礼儀を忘れず、利用者様や職員の方々から信頼されるよう努力していきます。



は せ がわ ろ う と  
**長谷川琉斗さん**

①利尻町  
②株式会社中田組 工事部  
③読書、散歩  
④1年目なので覚えることが多く、悩むことや躓く事も確実にあると思ひますが、諦めずに頑張っていこうと思ひます。

## 警察官紹介



鬼脇駐在所 巡査部長 **稲垣森央さん**

4月1日付けで、鬼脇駐在所に着任しました稲垣 森央（いながきもりお）です。山好きが高じて北海道警察の山岳救助隊となり、最北の日本百名山を擁する利尻島で勤務する機会をいただけてとても嬉しいです。4月に登った利尻山では、厳冬期並みの吹雪に叩かれ、北海の荒法師といわれる利尻山の気候の厳しさに驚きました。

特殊詐欺、犯罪被害や交通事故を減らし、住民の皆様が安心して暮らせる地域の雰囲気づくりに貢献できるよう、働いて、働いて、働いて参ります。家族共々、温かいお付き合いをどうぞよろしくお願いいたします。



鷺泊駐在所 巡査長 **牧 翔さん**

本年4月1日付けで札幌方面室蘭警察署刑事第一課から異動して参りました牧 翔（まき しょう）です。

家族は妻と2人で、釣りやキャンプが趣味です。

初めての駐在勤務ですが、町民の皆様には親切にいただき、大変感謝しております。

皆様が犯罪や交通事故にあわないよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

# 地域おこし協力隊通信 vol.22

昨年11月に地域おこし協力隊として着任いたしました、宮崎です。早いもので、利尻の地に移住してから半年余りが経ちました。私にとって初めて経験する利尻の冬は、これまでに経験したことのない厳しい寒さもありましたが、島民の皆様の温かい支えのおかげで、毎日楽しく乗り越えることができました。島が最も輝く最高の季節である夏に向けて、現在は美しい自然に刺激を受けながら、充実した日々を過ごしています。



現在、私は利尻富士町が直面している大きな課題の一つである「人手不足」の解決に向けた施策作りに取り組んでいます。その大きな目標として、地域の複数の事業者が組合を作り、年間を通じて安定した雇用を生み出す仕組みである「特定地域づくり事業協同組合」の立ち上げを検討しています。この実現に向けて、これまでに町内の事業者様へのヒアリングを重ねて現場のニーズ把握に努めるとともに、先進地である他自治体への事例調査や意見交換などを積極的に行ってまいりました。

そして、この将来的な組合設立をしっかりと視野に入れながら、まずは町民の皆様や事業者様にとってより身近な一歩として、このたび「町独自の無料職業紹介所（ワンストップ窓口）」を開設いたしました。これは、仕事を探している方と、働き手を求めている町内の事業者様をスムーズに結びつける架け橋となるための窓口です。私自身、この役割を責任持って果たすために「職業紹介責任者講習」を受講し、労働局との度重なる調整や開所に向けた手続きを進めてまいりました。

この無料職業紹介所や、将来の特定地域づくり事業協同組合の拠点としての活用を見据え、新たな試みとして、5月19日より本泊小学校の管理人を務めています。火曜日から土曜日（祝日を除く）の10時から16時の間を基本として、本泊小学校に常駐しています。当施設は地域の皆様の交流スペースとして特に小さなお子様安心してのびのびと過ごせる「遊び場」としても広く開放しています。「ちょっと話を聞いてみたい」と



いうだけでも大歓迎ですので、「新しい働き手を募集したい」という事業者様、「町内で仕事を探している」「今後の働き方について相談したい」という求職中の皆様、そして「お子様を連れて遊びに行きたい」「施設を利用したい」という地域の皆様まで、どうぞいつでもお気軽にお越しください。皆様の生の声を大切にお聞きしながら、この場所を地域活性化の温かい拠点に育てていきたいと考えています。利尻富士町の産業と暮らしがより豊かになるよう、これからも全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします

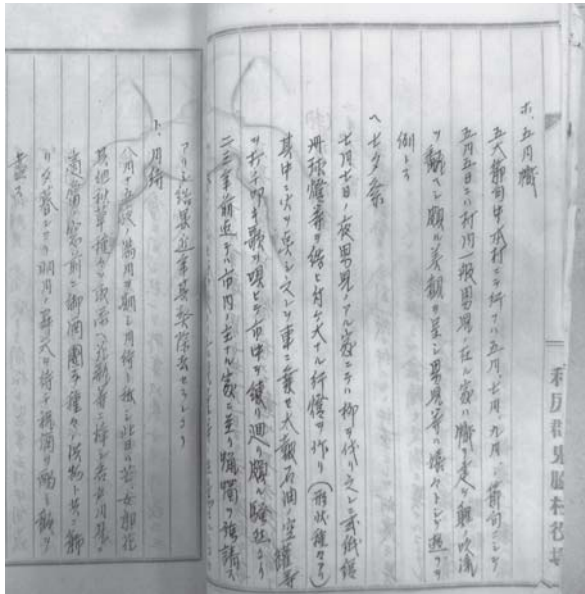
# わがまち タイムスりっぷ

## 連載<sup>69</sup> 七夕～ローソクもらい

現在、道内各地で行なわれている七夕は8月7日が多いですが、旧暦では7月7日とされ、利尻にもかつては「ローソクもらい」という風習がありました。佐藤萬さんの回想録「けっけのけ」には、夜になると子どもたちが集まって変装し「ローソク1本出せよ、出せ出せ出せよ。出さねばカッチャクぞ、おまけにクツクぞ」と歌いながら家をまわり、お菓子やローソクをもらったと書かれています。時代は、おそらく昭和のはじめ頃でしょうか。さながらハロウィンのようです。

また、大正10年の鬼脇村役場文書には、七夕祭について調査された記録が残っています。

「七月七日の夜男児のある家にては柳を伐り之れに式紙短冊球燈等を結び付け大なる行燈を作り（形状種々あり）其中に火を点し之れを車に乗せ太鼓石油の空缶等を持ち打ち叩き歌を唄ひて市中を練り廻り頗る騒然なり。二三年前迄は市内の主なるいえに至り蠟燭を強請するの弊ありしも学校より各児童等に注意するところありし結果近事其弊除去せられたり。」



鬼脇村役場文書「庶務雑件」の記録

意識すると、7月7日の夜に、男の子がいる家では、柳の木に短冊や小型の丸い提灯などを結び付け、大きな行燈を作って火を点し、これを押し車に載せて、太鼓や一斗缶等を打ち叩き歌を唄って、街中を練り廻り、とても騒然としている。二、三年前までは、市内の主だった家で、ローソクを要求する良くないならわしがあつたが、学校から児童に注意があり、その結果なくなつてしまつたとのこと。

ローソクもらいについて、戦後も本泊や富士岬、野塚でやっていたことを最近聞取りました。ほかにもご記憶のある方は、情報をお寄せください。

(教育委員会 山谷 TEL82-1370)

また、最新の北海道博物館研究紀要には、本町を含めた七夕についての調査記録が掲載されていますので、興味のある方はご覧ください（QRコード参照）。



# 管理栄養士だより

# 87,600回

人生で食べられる食事の回数は、約87,600回とされています。私はあと何回くらい食べられるのだろと、ふと考えてみました。

## 【食べることは】

- ①筋肉、骨、血液、臓器などをつくる。
- ②病気や感染症にかかりにくい強いからだをつくる。
- ③脳や身体を動かすためのエネルギーをつくる。
- ④噛むことで唾液が増え、虫歯や歯周病を予防する。  
さらに腸が活発になる。まさに「食べることは生きること」なんですね。



食べられる回数は限られています。みなさんも一食一食を大切に、ゆっくりよく噛み、これからも好きなものをおいしく食べませんか。

# ベビートーク

2人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



さわ こと か  
**澤 采叶** ちゃん

R8. 4. 29 生

【両親】 隆志・楓夏  
【住所】 栄町1

澤家長女の采叶です!!  
ミルクよく飲んで顔が丸くなってきた……ママ似です笑。  
寝顔は特にパパそっくり☆  
お風呂が大好きでいつも気持ちよさそうにしています♥  
見かけた時は話しかけてくれたら嬉しいです(\*^^\*)



かま くら たい せい  
**鎌倉大晴** くん

R7. 12. 3 生

【両親】 拓海・七海  
【住所】 鬼脇1

こんにちは！鎌倉家の長男、たいせいです！  
わんぱくな姉2人に、もみくちゃんにされながら元気に大きくなっています^\_^  
よろしくをお願いします！

## 戸籍の窓口

### ★お誕生おめでとうございます★

保護者	続柄	氏名	月日	住所
鎌倉 拓海・七海 様	長男	大 晴(たいせい) くん	R 7.12.3	鬼脇1
澤 隆志・楓夏 様	長女	采 叶(ことか) ちゃん	R 8.4.29	栄町1

### ♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所	氏名	住所
R 7.12.3	山下 幸人 様	栄町2	井上 花鈴 様	栄町2

### ◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
佐藤 昭子 様	R 7.12.18	93歳	鬼脇2	大森 雅子 様	R 8.3.20	86歳	鬼脇1
南屋敷八重子 様	R 7.12.26	87歳	栄町2	飯田フサエ 様	R 8.3.31	97歳	二石
上田 久子 様	R 8.1.1	88歳	鬼脇1	山田 シナ 様	R 8.4.2	98歳	野中
小玉 純子 様	R 8.1.10	88歳	鬼脇1	今野 征一 様	R 8.4.12	82歳	鬼脇2
大森 礼二 様	R 8.1.13	94歳	鬼脇1	工藤 千春 様	R 8.4.16	55歳	鬼脇2
神 克己 様	R 8.2.25	76歳	石崎	佐藤 正人 様	R 8.4.25	72歳	雄忠志内
箕輪 喬 様	R 8.2.27	46歳	鬼脇1				

## 編集後記

日を追うごとに日差しの強さが増し、いよいよ夏の到来を実感する時期となってきました。

先月の利尻島一周悠遊覧人Gから始まり、各種イベントが目白押しこの時期ではございますが、熱中症や怪我、そして交通事故に遭わないよう、日ごろから気を付けて過ごしていただければ幸いです。

皆様の夏が思い出に残る素晴らしいものとなることを心より願っております。

## 人口のうごき (令和8年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	711	747	1,458	796
鬼脇	291	320	611	377
合計	1,002	1,067	2,069	1,173